



うちのイチ押し!

大阪市

2019

# こどもカーニバル

市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- セレモニー広場…こどもたちによる鼓笛隊やバンド等の演奏などが行われます
- わんぱく広場…スタンラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- 遊び体験コーナー…紙飛行機チャレンジなど
- 模擬店コーナー…フランクフルト、コロッケ、ジュースなど

日時

4月21日(日)

自由入場

10:00~15:00 ※雨天中止(小雨決行)

場所

大阪城公園 太陽の広場、野球場  
(JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

対象

どなたでも

費用

入場無料(コーナーにより一部有料)

お問い合わせ

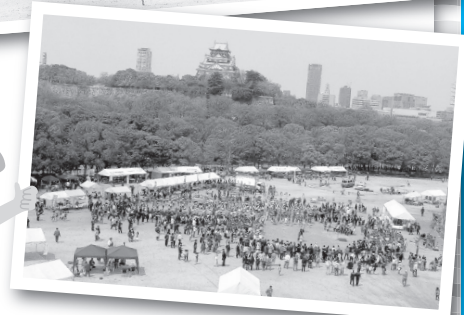
大阪市子ども会育成連合協議会

電話: 6941-1116 (平日10:00~17:00)

FAX: 6943-8906

## 大阪市子どもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、こどもたちの健やかな成長を願い、昭和54(1979)年から開催されています。こどもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚など、こどもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなどこどもたちが家族や友だちと楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



## こどもカーニバル会場



## おおさか歴史探訪 133

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

## 天下茶屋公園の阿倍寺塔心礎

—なぜここにある?—

「街中の公園にしては少し広いか」と思うくらいで通り過ぎてしまうかもしれない天下茶屋公園(西成区)。ところが公園内には阿倍寺の塔の心柱を支えた大きな礎石が置かれています。阿倍寺は阿倍野区松崎町にあった古代寺院。その礎石がなぜここにあるのでしょうか。明治時代以降はとくに、大きなお屋敷の茶庭に伽藍石といって古い建物の礎石を庭石として転用することが好まれており、空襲で焼失するまでこの地にあった屋敷の主、高津久右衛門によって運び込まれたからなのです。

高津久右衛門(1868~1951)は大阪の砂糖業界の中心的存在で、大正時代にこの土地を購入し、大正の末年以降にこの礎石を入手したようです。実はこの土地は、江戸時代にあっては「天下茶屋」の芽木家と競い合っていた葉舖「是齋屋」津田家の壮大な店舗・屋敷のあったところでした。その賑わいは『住吉名所図会』(寛政6(1704)年刊行)にも絵入りで紹介されています。明治初年には栄華を誇った津田家が衰微し、天下茶屋遊園地を開設したことで知られる橋本尚四郎・九五郎兄弟が後を継ぎます。明治元(1868)年と10(1877)年、住吉大社に参拝する明治天皇の休憩所とするため、尚四郎はここに仮御殿を建設しました。この建物も高津家が入手した時にはすでに傷んでいたため、これに代えて藤澤南岳の書になる「明治天皇駐蹕遺趾」という石碑が建立され、現在も心礎の脇に聳え建っています。

公園内にはかつての屋敷を窺わせる井戸跡や庭石もわずかに残り、この公園の驚くような歴史を静かに物語っています。(大阪市教育委員会 文化財保護課)



塔心礎の横に立つ紹介パネル(西成区岸里東1丁目)